



豊玉二中だより

令和3年度 第4号
発行日 7月13日(火)
練馬区立豊玉第二中学校
校長 神山 信次郎

自己啓発の夏休み

校長 神山 信次郎

まもなく1学期が終わります。皆さんにとってこの1学期はどのようなものだったでしょうか。勉強は思うように進みましたか。友達と楽しい時間をもてましたか。新しいことにチャレンジできましたか。大それたことでなくても、少しだけ頑張った自分に気づきましたか。



思ってもなかなか思うようにいかないのが普通です。大切なのは、振り返ることです。学期の終わりは、自分を振り返る大切な時期です。振り返り、今の自分を見つめ直せた人には、次の成功が近づいてくるものです。

さあ、自分には何が足りないのか、考えてみましょう。そして、迎える夏休みは、自分のための、自分だけにしか味わえない最高の時間にしてほしいと思います。自由に使える夏休みの時間は、みなさんひとりひとりの行動によってどのようにでも変わります。そこで考えてほしいことがあります。それは、いつしかネットの情報を頼り、自分の考えに自信が持てずに、世の中の空気に合わせてしまっていないだろうか。よく笑ったり、泣いたり、五感の力をフル回転させて生活しているだろうか。自分で考えて、工夫して、行動できているだろうか。夏休みは、ぜひ自ら目標を立てて、自分を成長させるために、様々な体験をしてください。読書も新しい考えや新しい世界を知る体験のひとつです。家族との時間も改めて新しい発見があるかもしれません。今まで知らなかったことを一つでも知ることは、自分の視野を拓げ、きっと心も成長させてくれるはずです。緊急事態宣言で外出もままならない夏休みとなりますが、こんな時だからこそ、生活のリズムを崩すことなく、自分の土台となる力を夏休みでつけていきましょう。

